

学校だより

加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



FBC（フラワー・ブロード・コンクール）の中央審査！（9月20日実施）

加茂野小学校長 堀部 昇

9月20日（金）、中央審査がありました。この「学校花壇コンクール」も今年で60回を迎えるそうです。ある保護者からは、「私の小学校の時にもFBCに参加していて、体育館前の花壇の世話を一生懸命やっていましたよ。」と教えていただいたこともありました。古いアルバムにもその頃の写真（1986年）が残っています。



「体験活動」を大切にしている本校では、その一環としてFBCに挑戦。3年目を迎えました。

★中央審査の様子(9:00～)

福祉委員会で育ててきた花壇です。初めに全員集合して、中日新聞の方に写真を撮っていただきました。そして、4月からの取組について、福祉委員長の細江さんが丁寧に説明しました。

去年、福祉委員の子が頑張って作った花壇は「農林水産大臣賞」に輝きました。どの花もすごくきれいで、加茂野小学校がいつぱんに華やかになったと思いました。そして、自分も去年に負けないくらいの花壇を作ってみたいと思いました。僕は福祉委員長になりました。「心を込めて世話をすれば、きっときれいな花が咲くそんな気持ちをもって、福祉委員の子たちと花を育てることになりました。

まず初めに、種を植えました。・・・



花壇のデザインが、「加茂野小学校がとても元気にぎやかな学校」を表していますが、花壇の花も元気で、いろんな花が混ざってにぎやかな感じがします。これからたくさんのお花を咲かせて、周りからも明るく元気な学校だと思ってもらえるような加茂野小学校にしていきたいです。

さらに、このデザインを考えた近藤さんが、デザインに込めた思いを語りました。

「花火のようににぎやかな学校」

加茂野小学校は、719人のとても大きな学校です。人数が多いだけでなく、魅力をもった色々な子達であふれています。デザインは個性的な子がたくさん集まって、とても活発で明るくにぎやかな学校をイメージしました。いろんな子達は、7種類の花で表し、スポーツが得意な子、絵を書くのが得意な子など、一人一人の魅力や個性を表しています。



また、花火のように中央からパッと広がり明るくカラフルな色合いを表現しています。私は加茂野小学校がさらに明るく元気な学校生活が送れるようにと願いを込めてデザインしました。

審査員の方からは、『これだけの酷暑の中、福祉委員のみなさんが一生懸命に育てられ、立派な花壇を作られました。とても素晴らしい出来栄です』とほめていただきました。

これまでの歩みについて、保護者の皆様、地域の皆様にも別紙にて報告させていただきます。

R6年度 FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)への挑戦

美濃加茂市立加茂野小学校

1 花壇の明細

花壇の場所	種類	品種	面積	播種年月日	植付年月日
校舎の中庭	・サルビア(赤・青・白) ・マリゴールト(黄・オレンジ)	・マンボジウム ・ニチニチソウ	17㎡	5月15日	7月18日

<経緯>

全校児童721名の大規模小学校である。今年のデザインテーマ「花火のようににぎやかで明るい学校」にあるように、外国籍児童を含め、多くの個性派ぞろいの子どもが集まる学校で、『合言葉は出し切る』を学校経営のキーワードとして、子供一人一人が、自分のよさを自覚し、存分に発揮(表現)する姿を目指している。そこで、体験活動を充実させ、豊かに自己表現する力を身につけさせたいと考えた。その一環として、福祉委員会が中心となってFBCに挑戦し、植物を育てる活動を位置づけている。同時に、植物を継続して見届け、育てることの難しさも学びながら、生命の大切さを学ばせていきたい。

本年度は、FBCへの挑戦、3年目となる。メイン花壇周辺に芝を植えるなどして、周辺を整えつつ、4年生の総合でも種からの花づくりを位置づけて、花いっぱいの学校づくりに一層力を入れている。昨年度、秋花壇終了後は、FBCでいただいたパンジーやビオラ、キンギョソウ、キンセンカを種から育て、春花壇を潤いのあるものにするとともに、卒業式・入学式に花を添えた。



① 種植え



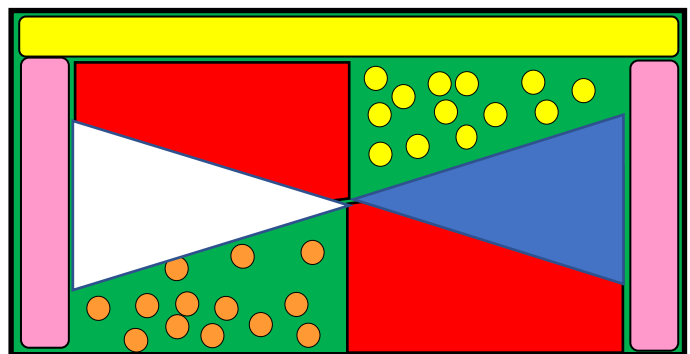
② 植え替え



③ 定植

2 花壇の位置・略図

- サルビア(赤)
- サルビア(青)
- サルビア(白)
- ニチニチソウ
- マンボジウム
- マリゴールト(黄)
- マリゴールト(オレンジ)



<デザイン>

本年度は、福祉委員28名全員が自分の願う花壇のデザインを考えました。そして、投票の結果、上記のデザインに決定しました。

テーマ:「花火のようににぎやかな学校」 代表: 近藤明日奈

本校のような大規模校は、人数が多いだけにいろいろな子がいる。外国籍の子も多い。個性的な一人一人が集まって、とても活発で明るくにぎやかな学校をイメージした。いろいろな子は7種類の花々であり、いろいろなスポーツをやっている子であったり、学年であったり、男女であったり、国籍であったりする。



中央からパッと広がって、花火のような明るさ、にぎやかさも表している。今の加茂野小学校を花壇で表しながら、明るく元気な学校生活が送れるようにと願いを込めてデザインした。

3 教育上の利用状況

① メイン花壇は1, 2年生の玄関前に作成、全校の目に留まるように

○情操教育を兼ね、低学年の玄関口にメイン花壇を設置。同時に複数の花壇でも栽培し、常に成長を見守ることができる。

○メイン花壇の周辺に芝生を貼り、緑一杯の環境に整備しなおした。

(地域の方の力を借り、子供と共に芝を植えた)



② 「福祉委員会」による飼育・栽培

○花の世話は福祉委員会で行っている。春花壇(パンジー・ビオラ、キンギョソウ、キンセンカ)も種から育てて世話をした。そして、秋花壇に向け子どもたちは、種植え→植え替え→定植+水やり、ピンチ、草引き等を行い現在に至る。(本年度は1000株ほど作成)

○夏季休業中の世話については、熱中症の心配があることから、教師中心で行っている。

③ 教育活動としての花壇の利用

○春花壇(パンジーなど)→低学年が生活科の時間に花の観察を実施。

3年生理科で、生き物見つけで活用。

○秋花壇→審査が終わってから、全校写真撮影会を実施し掲示する。

→「おもてなしゴルフ」に『花壇』に対する思いをデザインする。代表者を決定して作成し、出来上がった「ゴルフ」は地域の方に配布する。



④ FBCを中心とした飼育・栽培の体験活動の充実

○本年度も、体験活動を充実させる中で、子どもの自己表現する力を育もうとしている。FBCはもちろん、1, 2年生全員がサツマイモを植えている。また4年生は、

総合で『種から花を育て、地域を花で飾ろう』を実施している。

このように、福祉委員会だけでなく、子どもが直接、飼育・栽培する機会を充実している。

4 校外活動状況

① 地域と連携を密にして

本校は、『コミュニティスクール』推進校である。学校運営協議会では、花づくり(FBC)が常に話題となり、地域の協力を得ることや花づくりを通して、地域と交流する活動を展開している。隣接する天乳池の花壇も管理を任されている。

○「天乳(あまち)池」にも花を

隣接する地域の方の憩いの場「天乳池」にも花を植えて育てている。

(猛暑のため、残念ながら枯れてしまった。)



○地域に花を

7月14日(土)、『かもの軽トラ市』に参加し、来客に200株の花の苗を無料配布した。多くの方に喜んでいただき、地域に貢献することの喜びを味わうことができた。地域の方からは、返信が届いている。

12月には、パンジーを地域の方に配布予定。

○関係諸機関に花を

これまでに「交流センター」、「JAめぐみの」、「郵便局」など、花のプレゼントを行っている。



10月の主な予定		
1	火	PTA挨拶運動(地区委員会) 関合宿(5年)~2日
3	木	なかよし遊び クラブ
7	月	就学時健康診断(12:20下校)
8	火	かもん読み聞かせ 委員会 文化の森学習(5年1組 2組)
9	水	文化の森学習(5年3組 4組) 社会見学(3年) 宝物発表
10	木	運動会係会 社会見学(3年) 宝物発表
11	金	宝物発表 前期終業式
15	火	後期始業式 運動会係会
17	木	運動会係会
21	月	運動会準備(5時間目 5,6年) *1~4年生は4時間授業
22	火	運動会全校練習
23	水	運動会練習(5時間目 5,6年) *1~4年生は4時間授業
24	木	運動会(予備日:25日)
28	月	全校朝会
29	火	文化の森学習(1年1組 2組) 委員会
30	水	文化の森学習(1年3組 4組) 社会見学(6年)
31	木	ヤギさんふれあい教室(1,2年 おおぞら)

11月の主な予定		
1	金	PTA挨拶運動(学年委員)
5	火	かもん読み聞かせ クラブ スマホ・携帯講座(5・6年)
6	水	児童朝会 午前短縮日課(13:00一斉下校)
8	金	芸術鑑賞会
12	火	午前短縮日課(13:00一斉下校)
13	水	文化の森学習(4年)
14	木	なかよし遊び 委員会
19	火	クラブ
20	水	はらぺこ鑑賞会(1・2年)
21	木	修学旅行(1日目)
22	金	修学旅行(2日目) 認知症キッズサポーター養成講座(5年)
26	火	委員会
29	金	授業参観(参観のみ)

きらり☆多と光る私の自慢

■科学作品

《金賞》井戸咲那さん 崎 優心さん

《入選》

可知樹紀さん 前田想介さん 森 葵さん 可知はるきさん
中島有希さん 奥田結夢さん 塚本暖乃香さん 吉永 翼さん
奥田祐逢さん 小栗心春さん 下浦あゆかさん 神戸陽希さん
曾我優仁さん 加塩陽咲さん

■社会科作品

《銀賞》高井透真さん

《入選》

田中孝征さん 長谷部冴空さん 川合雪菜さん 間宮快都さん
長尾ひまりさん 羽柴空南さん 眞田陽馬さん

■読書作文

《入選》

吉田衣織さん 小林はこさん 清水悠さん 岩田美憂さん
長尾咲和さん 安藤芽生さん 田中琉奈さん 永田 律さん
辻優梨奈さん

■発明工夫

《作品の部》優秀賞 長尾瑠寧さん 入選 小田海翔さん

《絵画の部》銀賞 武田愛美さん

■第33回岐阜県小中学生武道錬成大会3位

優射賞 福地煌博さん

■第54回市長旗争奪大会 優勝 加茂野ファイターズ

■稲沢サマーフェスティバル かもJFC チームMVP

川上碧太さん 柳 智也さん 前田想介さん

■第38回岐阜県小学生バンドフェスティバル金賞

コバルトジュニアアンパルみのかも 土屋大和さん(トランペット)

■U-12ジュニアサッカーワールドチャレンジ2024出場

FCアンフィニ 河村 奏さん

■第17回日本ジュニアテコンドー選手権

第3位 服部香紀楼さん

■2024年全日本小中学生大会 RC18m女子(アーチェリー)

第1位 福井琴音さん

給食時の机列について



コロナ禍以降学校では、感染防止の観点から全員前を向いて給食を食べてきました。

コロナの5類移行後も、インフルエンザ等の感染症対策として継続してきましたが、10月から従来通り、グループ机での給食を再開することとしました。今後も、感染症等の状況を見ながら、随時対策を講じていきます。どうぞ、よろしく願いたします。